

教育心理研究部門

「社会性と感情教育」研究部会（第36回）

日時：2018年7月2日（月）11：30～15：30

場所：野間教育研究所 2階閲覧スペース

出席：渡辺弥生・飯田順子・小林朋子・大森美香・藤枝静暁 各兼任研究員
吉久知延所長・金沢千秋・泉水里香・鈴藤益弘

内容：（1）小林朋子氏より、紀要担当分の構想と論文の紹介

①二次的、三次的援助サービスの子どもに対する感情への支援

- ・ 一時的援助サービス：すべての子ども（入学時の適応、学習スキル、対人関係スキル など）
- ・ 二次的援助サービス：一部の子ども（登校しぶり、学習意欲の低下など）
- ・ 三次的援助サービス：特定の子ども（不登校、いじめ、発達障害、非行など）

②文献紹介：小塚千絵「アレキシサイミアと日常における感情体験の関係」（2004年「カウンセリング研究」37、146-154）

- ・アレキシサイミア (alexithymia)：感情を身体感覚と区別できない性格特徴。アレキシサイミア程度の高い個人は、自らの感情を感情であると識別して、それを表す言葉と結びつけることが難しい

③マインドフルネスストレス低減法について。

（2）渡辺弥生氏より、感情についての論文 Haas, L. M. et al. “Emotional Clarity Development and Psychosocial Outcomes During Adolescence” (2018 Emotion) を紹介

- ・ 青年期における EC (Emotional Clarity) に焦点を当てて、EC の時間的変化、関連する 要因、これが影響する変数を明らかにしようとする

・ 次回の研究会は、8月27日（月）11：30～。